学校番号	１０１

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	（学）時事日本語Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本語を聴解や読解を通して、さらに深く学び、また自分の意見を伝える力をつけるための日本語を学ぶ。伝える力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばす。使える文法や語彙を増やすことで、より深く、自分の意見をまとめて伝える力を育てるとともに、ある程度のまとまった文章を書ける力をつける。

2　学習の到達目標

a 知識及び技能
　今まで学んだ文法を復習し、正確に使えるよう鍛える。
　さらなる語彙を学び使える範囲を増やす。
b 思考力・表現力・判断力等
　自分の考えを正しく、適切に伝えるための表現力を付け、まとまった形で伝える。
　ある程度の長さの文章を書く力をつけ、自分の意見を伝える。
　聴解、読解を通し、自分ならどう考えるのか思考力をつけ、それをわかりやすく伝える。
c 学びに向かう力・人間性等
　言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文法を理解し使える運用力・語彙等の知識を身につけている。 漢字・カタカナ語等の知識を増やし、身のまわりのニュース、書物からの情報理解ができ、知識を身に着けている。	ニュース、読解文章を通して内容に対し、自分のこととして、意見を伝え合う力を高める。自分の思いや考えを深め発展させ、まとまった形で伝えられている。	他者とのかかわりを通して、日本語で伝え合う力を高める。日本語能力の向上を図ろうとしている。自分の考えを深めるために自主的に学習を進められている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1	読んでわかる	読解文章をよみ、その内容を理解したうえで、自分の意見を伝え、他者と対話する力をつける。	a:読解で出てきた文法・語彙を理解し、使うことができる b:内容から考察ができて、自分の意見を伝え、他者と対話できる c:自分自身で意欲的に取り組み、期限をまもって課題を提出している	ワーク 小テスト 定 期 考 査	観察 課題	観察 態度
	聞いてわかる	時事ニュースを聞き取り、その内容を理解し、自分の意見を踏まえて伝え、他者と対話できる力をつける。	a:語彙を理解できている b:内容から考察ができて、自分の意見をまとめた上で伝え、他者と対話できる c:自分自身で意欲的に取り組み、期限をまもって課題を提出している	ワーク 小テスト 定 期 考 査	観察 課題	観察 態度
2	読んでわかる・伝える	読解文章をよみ、その内容を理解したうえで、自分の意見を全体の前で伝える力をつける。	a:読解で出てきた文法・語彙を理解し、使うことができる b:内容から考察ができて、自分の意見を伝えられる c:自分自身で意欲的に取り組み、期限をまもって課題を提出している	ワーク 小テスト 定 期 考 査	観察 課題 発表	観察 態度
	聞いてわかる・伝える	時事ニュースを聞き取り、その内容を理解し、自分の意見を踏まえて全体の前で伝えられる。	a:語彙を理解できている b:内容から考察ができて、自分の意見をまとめた上で伝えられる c:自分自身で意欲的に取り組み、期限をまもって課題を提出している	ワーク 小テスト 定 期 考 査	観察 課題 発表	観察 態度
3	聞いてわかる・レポート	読解文章から自分の意見をレポートとしてまとめられる	a:語彙を理解できている b:内容から考察ができて、自分の意見を伝えられる。その内容に対して、全体の前で発表する c:自分自身で意欲的に取り組み、期限をまもって課題を提出している	ワーク 小テスト	観察 課題 レポート 発表	観察 態度
	聞いてわかる・レポート	時事ニュースから自分の意見をレポートとしてまとめられる	a:語彙を理解できている b:内容から考察ができて、自分の意見を伝えられる 自分の関心のあるニュースを発表することができる c:自分自身で意欲的に取り組み、期限をまもって課題を提出している	ワーク 小テスト	観察 課題 レポート 発表	観察 態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度